

読書の小径

こみち

No.77

劔岳 点の記

市図書館 ☎ 1253

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※ が休館日です

開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00

土・日曜日、祝・休…10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です

今年梅雨が長引き、夏山

登山になかなか行けず、映画「劔岳 点の記」で雄大な山岳風景を堪能された方も多かったのではないだろうか。原作本や関連図書を紹介します。

新田次郎『劔岳 点の記』。

明治39年秋、日露戦争直後、その当時の日本地図において最後の空白地帯であった劔岳周辺。前人未踏といわれ、また、決して登ってはいけぬ山と恐れられた北アルプス・劔岳山頂に三角点埋設の至上命令を受けた測量官、柴崎芳太郎。器材の運搬、悪天候、地元の反感などさまざま困難と闘いながら柴崎の一行は

山頂を目指して進んでゆく。

点の記とは、基準点（三角点・水準点など）の設置・測量の記録のことで、基準点の選点・埋標・観測それぞれの日付および従事者名、当該点に至るまでの道のりなどの情報が記されています。国土地理院のホームページ（基準点成果等閲覧サービス）で見ることができます。

山と溪谷社／編『もうひとつの劔岳 点の記』。原作者はこの物語にどのような思いを込めたのか。本当初登頂者は誰なのか。劔岳測量登山を取り巻くもう一つの物語がここにあります。映画の話から

始まり測量の話や登山史の中の劔岳と続き、劔岳の四季のカラー写真、バリエーションルートも含めた劔岳登山ガイドまで盛りだくさんの本です。

木村大作・金澤誠「誰が行かねば、道はできないー木村大作と映画の映像ー」。「隠し砦の三悪人」の撮影助手から映画人生をスタートさせ、デビュー作「野獣狩り」から初監督作品「劔岳 点の記」まで、走り続ける活動屋・木村大作の軌跡のすべてを収録。木村大作にしか語れない撮影方法、作品の舞台裏、そして映画に懸ける情熱がそそがれた一冊です。



10月

催し物だより

陶史の森 ネイチャーセンター ☎ 5144

森の創作アート教室

日時 10月18日(日)

午前9時～11時

(雨天実施)

内容 木や竹で楽しいモバイル（天井からつるす飾り）を作って楽しむ。

※事前に申し込みが必要

バードウォッチング

日時 10月25日(日)

午前9時～11時30分

(雨天中止)

内容 秋の野鳥観察

※参加は自由

★陶史の森の催しは、お一人でも参加できます。ただし、低学年児童は、親子でご参加ください。

ご希望 陶史の森は、動植物を保護しています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。また、陶史の森およびせせらぎ公園へのペットの立ち入りはご遠慮ください。



ホオジロ(スズメ目・ホオジロ科)

スズメ位の大きさ。腹が赤茶色で顔が黒白模様(♂)太く短くちばして草の種や虫を食べる。木のてっぺんなどで澄んだ良くとおる声で「チツチーピーツチツツピー」と鳴く。

